

第8回 千城台地区学校適正配置地元代表協議会 議事要旨

1 日 時 平成23年9月2日(金) 18時30分～20時30分

2 場 所 千城台公民館 2階ホール

3 出席者

- (1) 委員 19名 *欠席 來住委員、山崎委員、児玉委員
- (2) 事務局(教育委員会教育総務部企画課)
高須課長、国方課長補佐、白井主幹、加茂主査、山崎主査補、安井主査補
- (3) 傍聴者 11名

4 報告・議題

- (1) 【報告1】PTA・自治会での意見・質問等
- (2) 【議題1】前回の協議会での意見等
- (3) 【議題2】千城台地区小学校の統合シミュレーションについて
- (4) 【議題3】次回開催日時・場所について

5 会議資料

「千城台地区小学校のシミュレーション」

- ①委員から提出されたシミュレーションの組み合わせ案
- ②シミュレーション作成の前提条件
- ③本日提示するシミュレーション
- ④シミュレーション結果
- ⑤シミュレーションの評価項目
- ⑥平成23年8月に算出した各校の児童数推計
- ⑦概ね適正規模となるシミュレーション

6 議事の概要

- (1) 【報告1】PTA・自治会での意見・質問等
学校や自治会の各団体が、これまでの話し合いや活動などの報告を行った。
- (2) 【議題1】前回の協議会での意見等
前回の協議会での話し合いの内容を事務局が説明し、確認した。
- (3) 【議題2】千城台地区小学校のシミュレーションについて
資料「千城台地区小学校のシミュレーション」に基づいて、事務局から説明後、質疑応答を含めて協議を行った。
- (4) 【議題3】次回開催日時・場所について
次回協議会は、平成23年10月28日(金)18時30分から20時30分、千城台公民館にて開催することとした。
(*上記で確認されたが、都合により会場を千城台西中学校図書室に変更する。)

7 発言要旨

(1) 会長挨拶

これまで7回の協議会を経て、本日8回目となる。各委員からの要望を受けて事務局が作成した統合シミュレーションをたたき台として、中核の論議に入っていくと思われる。

各委員のお知恵を拝借して、より良い方向に進めていきたいと考える。

(2) 「千城台教育を考える会」から出された内容について

〈山崎議長〉 それでは、報告・議題に入る前に、先程「千城台教育を考える会」から出されたプリントの内容についてご意見がある方はお願いしたい。 ＊意見なし

(3) 報告

報告 (1) P T A ・自治会での意見・質問等

〈山崎議長〉 前回の協議会以降、各校 P T A や自治会等で話し合ったり、話題に出たりしたことがあれば、その様子をお聞かせ願いたい。まず、各学校から願います。

〈佐々木委員〉 先日、P T A 運営委員会があり、その時に教育委員会に来てもらい、適正配置について30分程度説明してもらった。

〈奥田委員〉 旭小では、アンケートをとったので、その結果を報告したい。(回答数は90人) まず、適正配置について(よく)知っていると言った人は60人、よくわからないと言った人が30人となった。

よくわからないと言った主な理由やその他の意見は、次のとおりである。

- ・協議会では、今のところ適正配置についてどこまで具体化しているのか。実際に教育委員会に説明にきてもらいたい。
- ・子どもルームについて、今でも待機であったり、南小の子どもルームに通ったりしている家庭があるので、実態を十分把握して進めていただきたい。
- ・通学路の安全については、千城台地区は不審者が大変多い。車への連れ込み等の事件が多発して危険であることも、十分理解してほしい。
- ・本日、引き渡し訓練が行われ、半数の家庭しか引き取りに來れなかった。そういう現状もよく理解してもらいたい。
- ・通学距離が遠くなると、車での送迎が多くなるが、その乗り降りの安全面も確保してほしい。
- ・学区は、どことどこだけという一部分の調整だけではなく、全体を見て行ってほしい。
- ・少人数のよさも十分考慮していただきたい。例えば、1クラス30人程度がよいと考える。

〈加瀬委員〉 町内会で6回までの協議会の資料・議事要旨等を回覧し、町内住民の意見を吸い上げているが、特に意見は出ていない。

本日7回目の資料を回覧した場合は、何か意見が出てくると思われるので、また報告したい。

(4) 協議

議題(1) 前回協議会での意見等

〈山崎議長〉 議題1「前回協議会での意見等」について、事務局に説明をお願いします。

〈事務局〉 議事要旨で既に確認をいただいているが、前回協議会での意見等を説明する。前回は主として、千城台地区小学校の適正配置について協議をした。その中で、以下の意見が出された。

- ・具体的にたたき台がないと進まない。
- ・「どこを統合する、しない」ということではなく、事務局にシミュレーションを示してもらい、それを検討していく中で、「学校規模」の点で協議していけばよい。
- ・シミュレーションをもとに、具体的に進めるのはよい。
ただ、地域としては統合を進めるということは「学校がなくなる」ということにもなるので、防災時の役割などいろいろな面から慎重に考えていきたい。

これを受けて、事務局でシミュレーションを作成し、それに基づいて協議することとなった。そこで、各委員にシミュレーション作成にあたって盛り込むべき条件を議事要旨(案)の回答とともに返送していただき、統合のシミュレーションを作成した。この後の協議で説明する。

〈山崎議長〉 事務局の説明に対して、質問はあるか。 *意見なし

議題(2) 千城台地区小学校のシミュレーションについて

〈山崎議長〉 まず、事務局から説明をお願いします。

〈事務局〉 「小学校の統合シミュレーションを提示して、それをたたき台として具体的に検討していく」ことが、前回協議会で確認されているので説明する。

① 委員から提出されたシミュレーションの組み合わせ案

- ・7人(A~G委員)の意見が寄せられた。

② シミュレーションの前提条件

- ・学級編制基準は、24年度以降、1学年ずつ順次35人学級編制となると想定して算出している。それ以外の学年は、1学級39・40人となった場合は、通常、クラスを新たに作る(開級)ため、38人学級編制で算出している。

③ 本日提示するシミュレーション

- ・図中の項目「資料」の1~15のケースを掲載した。

④ シミュレーション結果

- ・考えられる組み合わせは、統合後の学校数、校数の組み合わせなどにより、51通りある。

⑤ シミュレーションの評価項目

- ・子どもたちにとっての「より良い教育環境」をつくる。
- ・千葉市学校適正配置実施方針に沿う。学校の規模、学校の配置、受け入れ可能教室数を考慮して考えていく。

具体的に協議に入る前に、確認しておきたい。

- ・あくまでも「たたき台」としてのシミュレーションである。
- ・「より良い子どもの教育環境を作ること」の視点に立って、どこが問題（課題）になるか明確にしていく。

という2点を踏まえて、協議していただきたい。

〈山崎議長〉 ここまでの事務局の説明に対して、質問はあるか。

〈石原委員〉 統合シミュレーション結果の表に出てくる東小の最大学級数が2種類あるがどういうことか。

〈事務局〉 正しくは15学級である。シミュレーション結果表の東小の欄を訂正いただきたい。
※ホームページに掲載する資料は、修正済みである。

〈石原委員〉 2校、3校が組み合わさった場合の最大学級数は、それぞれの学校の最大学級数の和となっていないが、どういうことか。

〈事務局〉 まず、統合されることにより各学年の児童数が何人になるかを算出し、その人数を基に学級数を算出する。そのため、双方の学校の学級数をそのまま足した数とはならず、最大学級数も変わってくる。

〈山崎議長〉 続けて、事務局より説明をお願いします。

〈事務局〉 「平成23年8月に算出した各校の児童数推計」（3ページ）を説明する。
・各小学校における26年～29年度までの学級数と児童数の推計を算出している。
・学級数の欄で、11学級以下の小規模校は網掛けとしている。
続いて、「概ね適正規模となるシミュレーション」（1～15番のケース）について説明する。進め方だが、1～15番までを説明した後に、質問をいただくか、1つ1つ説明しながら、質問をいただくか、確認したい。

〈山崎議長〉 1つ1つ説明していただき、質問があれば受け付けていただくことでよろしいか。

〈事務局〉 了解した。それでは、説明する。1番目の資料は5校統合の場合である。学級数は、32～33学級となり、過大規模校となっている。

〈大和久委員〉 5校を1校とした場合、学級数が33学級となる。学校適正配置実施方針に沿って進めるということだが、増築や新築等を行わないと考えた場合、旭小の保有教室数34ある校舎しか使用できないと考えるが。

〈事務局〉 教室数から言うと、現在の保有教室数で言えば旭小だけが対応できることになる。但し、33学級ということになると過大規模校になってしまう。シミュレーション結果表は、各委員から寄せられた意見を反映し、考えられる組み合わせのすべてを載せている。

〈大和久委員〉 統合を進める条件として、新築や増設は行わないという考えでよいか確認したい。

〈事務局〉 学校適正配置実施方針に沿って進めている。真砂地区や高洲地区など、他の地区でも行っていない。

〈鈴木委員〉 現実的にも、5校を1校とすることは考えにくいのでは。

〈事務局〉 教育委員会としては、学校規模だけで考えると、千城台地区の小学校の場合は5校を2校にする方向で考えている。但し、通学距離や通学路の安全等、地域の実態をよく考慮して、いろいろな面から考えていただきたい。

〈山崎議長〉 続けて、事務局より説明をお願いします。

〈事務局 *2番から6番までのケースを説明、質問なし〉

- 〈佐々木委員〉事務局の説明はよくわかった。この後の資料についても、理解した。結局、ベストなケースはあるのか。
- 〈事務局〉 それについては、この協議会の中で話し合っていたきたい。まずは、これだけの組み合わせがあり、シミュレーションとしてはこのようになることを理解していただき、各委員がいろいろな面から考えて話し合い、「より良い教育環境」となるような方向性を見出していたきたい。
- 〈山崎議長〉 では、学区域の不連続とならない隣接している統合シミュレーションはあるか。
- 〈安部会長〉 5校を2校に統合するパターンであり、西中学校区、南中学校区ごとの隣接した学区どうしの統合となる。
- 〈事務局〉 隣接する統合パターンは、シミュレーションの3、4、8、11、12、13番である。
- 〈鈴木委員〉 学区域の不連続がなく隣接する統合シミュレーションの中で、適正規模となっているところは、2つしかないということか。
- 〈事務局〉 現在の学区域での統合シミュレーションを考えた場合は、そういうことになる。
- 〈佐々木委員〉 資料の13番がよいのではないか。
- 〈酒井委員〉 学区域の連続性だけでなく、2校、3校統合した場合、学級数も不釣り合いにならないようなシミュレーションを考えていけばよい。
- 〈多田委員〉 そういう観点からもバランスがよいのは13番である。5校を3校に統合するパターンであるが、無理やり5校を2校としなくてもよいと思う。
- 〈鶴岡委員〉 今、各委員から13番がよいと出ているが、29年度までの推計を見ても、3校とも12～15学級で適正規模となっている。資料の12番目の2校に統合となるパターンも12～23学級で適正規模となっている。但し、推計上は12学級となっているが、実際には11学級となってしまうこともあり得るのではと心配している。
- 〈事務局〉 児童数推計は、入学率等を勘案して算出しているもので、実際に毎年入学する児童数は変わってくる。その状況に応じて、学級数が変わることもあり得る。
- 〈鈴木委員〉 地域の実態に合わせて評価項目も検討して、協議していくことが大切である。
- 〈事務局〉 ご指摘の通りである。学校適正配置実施方針の大きな柱に「地域コミュニティとの関連」も考慮して検討する旨を記しており、地域の実態に即した協議をお願いする。
- 〈佐々木委員〉 資料の3番目の3校統合（東小・南小・旭小）の場合、25学級となってしまう、大規模校となる。この場合、東小の学区（御成台地区等）を調整すれば、解消できると思う。
- 〈事務局〉 参考であるが、御成台1～3丁目から通っている東小へ通学している児童は107名（23年5月現在）となっている。
- 〈村田委員〉 区域外の児童も多くいると思う。東小では、更科小学区の下田町などの遠い場所から（学区外通学承認）で通う児童もいる。統合となると、通学距離が長くなることも予想されるので、この点は考えていかなければならない。
- 〈事務局〉 学区外の地域から東小へ通学している児童は約30名いる。（23年5月1日現在）
- 〈村田委員〉 東小以外の小学校では、学区外から通っている児童はいるか。
- 〈事務局〉 南小では、坂月小学区から通ってきている児童もいる。また、北小には特別支援学級があり、学区外の児童も多い。

- 〈高野委員〉 3校にする案の資料13番がよいという意見が多い。学校適正配置実施方針では、5校を2校にするようになっているが、千城台地区の実態をよく考えて、2校にするのか3校にするのか検討していくべきである。
- 〈事務局〉 資料13番は、5校を3校にするというシミュレーションである。
- 〈高野委員〉 資料13番のシミュレーションは、すべて適正規模となるのか。
- 〈事務局〉 12～15学級となり、適正規模である。
- 〈石原委員〉 東小では（卒業後の中学校進学が西中と南中になるという）通学区域のねじれも生じている。統合された学校の中で、近い方の学校に通えるよう調整されるのがよいと考える。学区外から通学している児童もいるので、いろいろな面から考えていただきたい。もう1点、モノレール通りを渡らせることも心配である。本日のシミュレーションに加味して検討していただきたい。
- 〈事務局〉 今のご意見のように、「規模（学級数）」の面だけでなく、「配置」の観点からも考えていくことが大切であると認識している。先ほども述べたが、地域の実態を加えて考えていただければと思う。
- 〈大澤委員〉 資料13番のように、3校を残すことに賛成である。東小は人数的に1校として残すのはよい。但し、学区のねじれが生じていることが心配である。東小に通う御成台地区の子どもたちを東小以外の学校に通わせられるかどうか、あるいは北小や西小に通わせることはどうなのか、これから検討して詰めていくことも必要だろう。
- 〈中村委員〉 小学校の統合を話し合っているが、どれにしても中学校2校の生徒数がつり合う人数になればよいと思う。
- 〈谷野委員〉 中学校と小学校が、1つの学校になることはできないのか。
同じ校舎の中で、小学校と中学校が入れないのかということである。
- 〈鶴岡委員〉 中学校が統合して1校となれば問題ない。2校のままだと、中学校区の配分が難しいと思う。
- 〈大和久委員〉 西小では、父親も参加できる土・日に、説明会を行ってほしいとの意見が出ている。また、この統合シミュレーションも聞きたいという意見も出ている。ぜひ事務局に来てもらい、説明会を行っていただきたいと思う。
- 〈事務局〉 要望があれば是非伺いたい。協議の中心は地元代表協議会であるが、保護者にも地元代表協議会の状況を伝えた上で、「これからの千城台地区の学校」に考えていただき、そこでの声を協議会に生かしていきたい。
今までに実施してきた例では、PTA役員会などに合わせて時間を設定していただき説明後に意見交換を行っている。機会を得て説明を継続していくことは大切であると考えており、今後も様々な機会をいただければ伺っていきたい。
- 〈奥田委員〉 PTA役員も変わっていく中、どうやって呼んでいいのかわからない。
- 〈事務局〉 まずは連絡をいただきたい。日時や内容等についてはその際に相談させていただく。
- 〈高野委員〉 例えば、この統合シミュレーションを使い、各校に説明をしていただく中で、統一したアンケートをとってみてはどうか。
- 〈事務局〉 今日、このシミュレーションを提示したのは、あくまで「協議のたたき台」にしていろいろな面から話し合っていく中で、より良い方向へ煮詰めていただきたいとの考えからであり、この点については前回協議会でも確認されている。このシミュレーションの中から決めるということではない。

今は、各シミュレーション案の場合、どんな点が課題になるか、質疑応答をしながら共通認識を図っている段階である。まだそういう段階でアンケートを取ることは妥当ではないのではないかと。協議会として統合の合意がなされ、その具体的な案を検討していく中で保護者の声としてアンケートをとることは考えられるかと思うが、今はまだ協議を深めていくことを優先する方がよいのではないかと。

〈鈴木委員〉 今日提示されたシミュレーション案は、我々協議会委員からの要望で事務局が作成し提示してもらったものである。委員一人一人が説明できるように理解しておかないといけない。

〈大澤委員〉 資料13番がやはりよいと思う。北小・西小で1校、旭小と南小で1校、そして東小の3校となる。そして、次の段階で、東小の学区のねじれを調整していけばよいのではないかと。

〈事務局〉 いろいろな意見を出していただき、煮詰めていただければと思う。次回も、この統合シミュレーション案をたたき台として、協議していく方向でいかがか。

〈一同〉 異議なし（了承）

〈山崎議長〉 本日、持ち帰って、よく見ていただくと違う意見も出てくると思う。「より良い教育環境」にするため、いろいろな視点に立って、考えていただきたい。次回事務局に準備してもらいたい資料はあるか。

〈村田委員〉 統合シミュレーションの地図に、学校の位置が入っているとわかりやすい。

〈事務局〉 次回は、地図に学校の位置を入れて提示する。

〈奥田委員〉 学区外から通学してくる子どもは今後もいると思う。「だいたいこの地域から通学してくる」というのはわかると思ので、推計できないか。

〈事務局〉 住民基本台帳を基に、各学区ごとに居住する児童数を用いて児童数を推計している。しかし、今在籍している（現年度の）学区外通学の児童については数がはっきりしているもので、それがスライドすると仮定して入れることはできる。しかし、現在は就学前で、今後学区外から入学してくる児童数について予想して数に入れることは難しい。

議題（5）次回開催日時・場所について

〈山崎議長〉 「次回開催日時・場所」について、事務局からの提案をお願いします。

〈事務局〉 おおむね2ヶ月に1度のペースで開催する旨の了承を得ているので、次回は10月下旬から11月初旬となる。そこで、10月28日（金）18時30分から、千城台公民館で開催ということはいかがか。

〈一同〉 異議なし（了承）。

*上記で確認されたが、都合により会場を千城台西中学校図書室に変更することとした。

（5）連絡

・欠席の場合は早めに事務局まで連絡をお願いしたい。なお、代理出席も可である。

・本日の議事要旨については、案を作成し、委員の方々に確認していただく。

期日までに回答がない場合は「修正なし」とさせていただきます。

委員の確認終了後、修正・確定した議事要旨を、教育委員会ホームページで公開する。

- ・今日の協議内容については、各組織の方々にもお知らせいただきたい。
なお、本で行ったシミュレーションの検討は「何かを決定したもの」ではなく、「協議のたたき台」である。この点を十分に留意して、各団体に伝達していただきたい。
- ・次回の議題も、統合シミュレーションを示しての検討とする。「より良い教育環境」の視点から、本日同様、慎重に協議していくことが必要であるとする。

(6) 会長挨拶（安部会長）

本日も、忌憚のないご意見を出していただき、感謝する。今後も、意見等があれば、議事要旨案の確認時に事務局に挙げていただきたい。